

平成22年1月29日

各位

上場会社名 高砂鐵工株式会社  
 代表者 代表取締役社長 吉田 保  
 (コード番号 5458)  
 問合せ先責任者 経理部長 畑田 正樹  
 (TEL 03-5399-8111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	△1,100	△1,400	400	13.31
今回発表予想(B)	18,500	△2,000	△2,200	0	0.00
増減額(B-A)	△3,000	△900	△800	△400	
増減率(%)	△14.0	—	—	△100.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	27,408	△1,849	△2,050	△2,018	△67.16

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	△1,200	△1,400	500	16.64
今回発表予想(B)	12,000	△1,500	△1,700	50	1.66
増減額(B-A)	△1,000	△300	△300	△450	
増減率(%)	△7.7	—	—	△90.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	18,926	△1,834	△1,946	△1,525	△50.76

## 修正の理由

一昨年の金融危機による急激な景気減速を受け、これまで役員報酬・管理職給与の減額、休業実施による雇用調整助成金の申請、その他あらゆるコスト削減策を実施し、さらにステンレス部門においては抜本的構造改革により冷延・熱処理設備を廃止し固定費の大幅削減に取り組むとともに、みがき帯鋼事業拠点の本社地区への移転集約事業の繰上実施を断行してまいりました。

しかしながら、特にステンレス部門の需要回復の足取りが想定より重く、また、モーターサイクル関連部品事業においても、日・米・欧市場における需要の極めて大幅な減少に見舞われていることから業績予想を修正いたします。

経済活動が金融危機前の水準を取り戻すことは当面期待できず、経営環境は厳しい状況が続くことが予想されることから、今後、1事業所の中でステンレス、みがき帯鋼を生産するコンパクトな体制をフルに生かし、ステンレス部門においては「ミルを持たないメーカーとしての利点」を追求、早期の業績回復に向け総力を結集して参る所存であります。

## [業績予想に関する留意事項]

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以上